

令和7年度 8期生（1学年）総合的な探究の時間

1. 年間の概要

3年間の「総合的な探究の時間」の始まりとなる1年生では、その基礎を作ることに重点を置いて活動を行った。4～7月には探究活動の基礎となる知識や姿勢を身につけるプログラムを、8～11月には日本社会や世界に視野を広げて情報を収集するとともに、自己理解や分析を深めるプログラムを行った。それらの活動をもとに12月以降は、今後進めていく「個人探究」の仮テーマを設定した。そして年度末には、探究テーマを設定した理由や探究する意義などについてプレゼン発表を行い、クラスや学年への共有を行った。

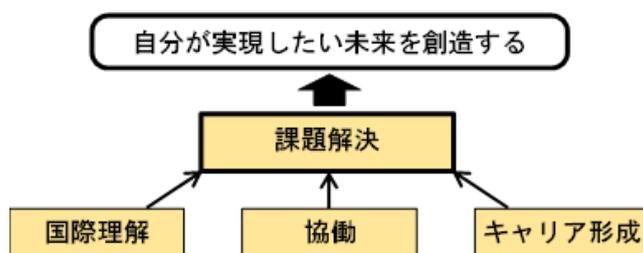
2. 年間指導計画

月	テーマ	観点			
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	探究活動の基礎作り	○			
5	○協働とは				
6	○キャリア形成①				
7	○課題解決とそのプロセス				
8	情報収集、自己理解・分析				
9	○社会課題		○	○	
10	○国際理解				
11	○キャリア形成②				
12	個人探究の開始				
1				○	
2		○探究テーマの設定			
3					

3. 具体的な取り組み

(1) 「目指す生徒像」と「身につけていく4つの力」の提示

はじめの授業において、8期生が3年間の総合的な探究の時間を通して「身につけていく4つの力」と「目指す生徒像」を提示し、本授業の意義や目標への理解を促した。



(2) 総合的な探究の時間に紐づいたグローバル教育講演会

本校がグローバル教育研究推進校として行っている事業の1つである「グローバル教育講演会」を、総合的な探究の時間と紐づけて「国際理解」をテーマに実施した。この2回の講演会を、生徒たちが海外への興味や視野を広げるだけでなく、個人探究のテーマ設定に向けてグローバルな視座で物事を考える素養を育む機会とした。

(3) キャンパスツアーの実施

午前中に大学訪問、午後に合同説明会を行う「キャンパスツアー」を12月に実施した。特に大学訪問では、生徒たちは学校に関する説明を聞くだけでなく、大学の講義内容に関する模擬授業に参加し、「大学で学問を学び、研究すること」を実際に体験することができた。このキャンパスツアーが、生徒の将来学び、研究したい学問と探究活動が結びつく機会となるように、事前・事後指導も含めて総合的な探究の時間の一環として実施した。

(4) 個人探究テーマの設定

1年間の総合的な探究の時間を通して学び、経験してきたことをもとに、2年生で進めていく個人探究のテーマ設定を行った。今後は、このテーマについて先行研究等を用いながらより詳しく調査し、課題の発見と解決策となる仮説の設定、その検証・まとめを行っていく。

【個人探究テーマの例】

- ミツバチによる生態系の維持
- 公園が楽しく遊べる場所になるには
- 顧問不足と生徒主体の部活動運営
- 心の不調とファッション
- 緊張の種類にあった対処法はパフォーマンスを向上させるのか

4. 今年度の活動を振り返って

今年度については、3年間の総合的な探究の時間のスタートということで、年間のゴールを「個人探究テーマの設定」とした。特に、「生徒が“本当に探究したい”と思うテーマを見出せる探究活動」という点を意識し、年間計画を策定した。前半には「協働」「国際理解」「キャリア形成」「課題解決」に関する基礎的な知識や姿勢を身につけるための授業や講演会等を実施し、後半にはそれまでの学びや経験を踏まえて「自己分析」を行わせることで、個人探究のテーマ設定へとつなげた。

また、これまでは探究活動とあまり連動できていなかった「グローバル教育講演会」や「進路学習」を、総合的な探究の時間の一環として探究活動に紐づけて企画・実施した。この点についてはその効果を検証し、来年度以降によりよい形で引き継いでいきたい。